

主要事業評価シート(第2次実施計画／R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	政策部
	17066	リニア中央新幹線整備促進事業		課名	政策推進課 交通政策G
	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上		財務科目	01:一般会計
	基本施策	05:広域的な交通拠点性の強化		款	02:総務費
	施策の方向	01:リニア中央新幹線市内停車駅の誘致の推進		項	01:総務管理費
戦略プロジェクト		-		目	07:企画費
事業予定期間		H 21 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等		

② 目的・概要	対象	市民・リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議			
	目的	リニア中央新幹線の三重・奈良ルートでの名古屋・大阪間の早期開業と市内停車駅設置の実現に向け、市民・企業・商業者と一体となった積極的な誘致活動を展開するとともに、市民の意識醸成を図る。			
概要	概要	リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議への活動支援や県期成同盟会等との活動を通じ、リニア中央新幹線の東京・大阪間の早期開業及び県内の概略ルートや駅の概略位置の早期公表、市内停車駅誘致に向けた活動を行うとともに市民の意識醸成のためのPR活動を行う。また、駅誘致の決定後、リニアを核としたまちづくりに向け円滑に取り組めるよう、情報収集やリニア中間駅を生かしたまちづくりの可能性に関する調査を実施する。			

令和元年度			令和2年度			令和3年度		
年度計画	○市民会議への補助金交付 ・市内駅誘致に向けた要望活動等 ・シンポジウムの開催		○市民会議への補助金交付 ・市内駅誘致に向けた要望活動等		○市民会議への補助金交付 ・市内駅誘致に向けた要望活動等 ・シンポジウムの開催			
	○三重県期成同盟会など関係団体への会議等への出席		○三重県期成同盟会など関係団体への会議等への出席		○三重県期成同盟会など関係団体への会議等への出席			
	○市内駅誘致・整備等に向けた情報収集 ・先進自治体等への視察		○市内駅誘致・整備等に向けた情報収集 ・先進自治体等への視察		○市内駅誘致・整備等に向けた情報収集 ・先進自治体等への視察			
	○PR活動 ・PRグッズの作成		○PR活動 ・デジタルサイネージの導入 ・デジタルサイネージコンテンツの作成		○PR活動 ・PRポスターの作成 ・デジタルサイネージコンテンツの拡充			
年度実績	○市民会議への補助金交付 1,262千円		○市民会議への補助金交付 1,200千円		○市民会議への補助金交付 936千円			
	○三重県期成同盟会等への会議の出席		○三重県期成同盟会等の会議への出席 (書面含む。)		○三重県期成同盟会等の会議への出席 (書面含む。)			
	○市内駅誘致・整備等に向けた情報収集 ・先進自治体(中津川市)の視察		○市内駅誘致・整備等に向けた情報収集		○市内駅誘致・整備等に向けた情報収集 ○リニア駅を生かしたまちづくりの可能性に関する調査 7,425千円			
	○PR活動 ・PRオリジナルテープの作成(600巻)		○PR活動 ・デジタルサイネージを活用したPR		○PR活動 ・PRポスター作成 ・PR動画編集			
事業の計画・実績	計画額	事業費	3,000千円	1,700千円	10,900千円			
		国庫支出金						
		県支出金						
		地方債						
		その他						
	予算額	事業費	2,900千円	1,395千円	10,820千円			
		国庫支出金						
		県支出金						
		地方債						
		その他						
	決算額	事業費 ①	1,607千円	1,386千円	8,615千円			
		国庫支出金						
		県支出金						
		地方債						
		その他						
	人件費	一般財源	1,607千円	1,386千円	8,615千円			
		総人件費 ②	4,945千円	4,939千円	4,979千円			
		一般職員	4,945千円	4,939千円	4,979千円			
		所要人員	0.63	0.63	0.63			
	会計年度任用職員等		0千円	0千円	0千円			
	総コスト(①+②)		6,552千円	6,325千円	13,594千円			
	受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%			

				令和元年度	令和2年度	令和3年度
④ 指標	①	名称 リニア中央新幹線建設促進期成同盟会総会への出席回数	活動	計画値	1	1
				実績値	1	1
				単位	回	回
	②	名称 リニアに触れた親子の数 リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議が実施するイベントへの親子参加者数	成果	計画値	90	90
				実績値	87	0
				単位	人	人
	③	名称		計画値		
				実績値		
				単位		

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 県等の期成同盟会との連携強化を図る。また、「リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議」における官民一体となった活動を通じて、PR活動やシンポジウムの開催などを積極的に実施するとともに、当該組織の会員拡大を図る。更には、リニア駅候補地案の検討をはじめとするリニア駅を生かしたまちづくりに関する可能性調査を実施する。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 全国・県のリニア期成同盟会等と連携を図り、中央要望などリニア早期全線開業に向けた継続的な取り組みを行った。新型コロナウイルス感染症の影響によりシンポジウム等PR行事の開催が実施できなかったが、「リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議」への活動支援を通じて、PR看板の更新やリニア亀山市民会議会報の全戸配布などPR活動を展開した。また、リニア駅を生かしたまちづくりに関する可能性調査の結果を踏まえ、駅候補地案の提案を行った。

評価		(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 全国・県のリニア期成同盟会等との連携を図るとともに、「リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議」に対し補助金を交付し、リニア中央新幹線の早期全線開業や市内停車駅誘致に向けた取り組みを推進した。新型コロナウイルス感染症の影響により、リニア亀山市民会議によるシンポジウム等の行事が計画通り実施できなかったが、PR看板の更新をはじめ、会報の全戸配布等のPR活動を実施することができた。また、リニア駅を生かしたまちづくりに関する可能性調査の結果を踏まえ駅候補地案を提案した。 B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 「リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議」をはじめ、県等関係団体と連携したリニア誘致の継続的な官民一体の取り組みにより、本市が県内唯一の県内駅位置候補に決定されたことを受け、県期成同盟会において、県内駅候補地案(亀山東・南部地域)の提案を行ったことにより、リニア中央新幹線の三重・奈良ルートでの名古屋・大阪間の開業の早期実現や市内停車駅の誘致に向けての市民の機運の向上に資することができた。一方、シンポジウムの開催等のリニア誘致の機運醸成のためのイベントについては、昨年度に引き続きコロナ禍の影響により計画通りの開催を行うことができなかった。 B まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 本市より「三重県リニア中央新幹線建設促進期成同盟会」において、県内駅候補地案を提案したことにより、一層、関係団体と連携した誘致活動や市民の機運醸成につながる取り組みを展開していく必要がある。また、これを好機と捉えた中で、リニア駅を生かしたまちづくりに関する検討を進めていく必要がある。	次期実施計画への方向性
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 県等の期成同盟会との連携をより一層強化し、県を挙げた機運醸成につなげる。市内においては、「リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議」における官民一体となった活動を通じて、市民の機運醸成のため、当該組織の会員拡大を図る。また、リニア駅を生かしたまちづくりに関する可能性調査の結果に加え、先行開業区間の工事進捗や自治体の整備状況も注視し、リニア駅を生かしたまちづくりの検討に生かしていく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 リニア中央新幹線の早期全線開業及び市内停車駅誘致に向け、会員を拡大することにより効果的な誘致活動が展開できるとともに、県期成同盟会において県内駅位置候補の決議がなされることになれば、市民のみならず県を挙げた機運醸成を図ることができる。	
	対応時期	令和4年度	

☐ 継続（拡大）
☒ 継続（現状維持）
☐ 継続（縮小）
☐ 完了
☐ その他
【その他の場合、その内容を記載】

【1次評価者】	政策部 政策推進課 交通政策グループリーダー 服部 任之
【最終評価者】	政策部 政策推進課長 大平 守

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	B	B	B
	成果	A	A	B	A	B

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		10,820 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	千円
	令和3年度の最終予算額	10,820 千円
	令和4年度への繰越額	千円